

論点メモ

（第3回 自治体の遠隔型連携に関する研究会）

2016年11月

（公財）日本都市センター研究室

論点1 遠隔型連携の現状について

- ・ 遠隔型連携に期待される効果
- ・ 従来の遠隔型連携や交流の状況
 - 姉妹都市・友好都市
 - 災害時応援協定
 - 都市と農村の交流
- ・ 多様な行政分野における遠隔型連携の検討
- ・ 連携の類型化と論点の整理
 - 自治体の規模による区分（都市-都市、都市-農村、農村-農村）
 - 連携の目的による区分（防災・観光・教育・産業等）
 - 連携の形態による区分（協定・協議会・ネットワーク等）

論点2 遠隔型連携の防災・危機管理への活用

- ・ マネジメント体制
 - 手法（知事会・市長会等）
 - 時期（発災・復旧・復興）
 - 対象（人材・物資）
- ・ 応援体制（避難所・復興対策・医療等）
- ・ 受援体制（受援計画・ガイドライン等）

論点3 福祉分野における遠隔型連携の可能性

- ・ 各制度における論点と課題
 - 法制度上の論点と課題
 - 財政上の論点と課題（住所地特例・在宅介護）
 - 介護福祉の視点からの論点と課題（医療・介護人材の確保）
- ・ 人口減少対策としての遠隔型連携（日本版 CCRC 構想）
 - 移住者の受け入れ・呼び込み手法
 - 国や県の役割
 - 今後の展望

論点4 遠隔型連携の今後の方向性

- ・ 遠隔型連携の継続性の確保（連携を促進するシステム・人材づくり）
 - 近接型連携と異なった手法
 - 定期的な連携内容の見直し
- ・ 民間企業やNPO、地域住民の参加
 - 連携の分野に合致する人材
- ・ ICT等の活用
- ・ 今後どのような分野での遠隔型連携が期待されるか